



子器ノ縱斷 (蜜軒畫)



Parmelia Asahinae YASUDA. 1/1

垂

風

梳

セ ナ

頗

風

ガ 力

决

セ

其

冽

ナ

1

却 ヲ

テ

吾

東 ラ

情調

調

和 情

シ

誠 7

快

ナ

適 感 テ

樹

モ

其

ヲ

見

(當軒撮影) 其 ナ K 工 イ ŀ

3

ŀ

肝

デ

n

限

ラ

ネ テ

ナ

ヌ

ナ ヲ

屈 ゥ 共

÷ ガ

デ

ナ 7

種 何 R

≥⁄

タ

别

種 ナ

> 木 云

其處

此 ナ

處

植

セ

却

其

處

趣

目

ヲ ラ

メ ガ

且

市

助

ŋ 景

n

モ

スマ ィ

OParmelia Asahinae 朝 比 奈 泰

彥

ZAHLBRUCKNER H 發 所 地 於 衣 同 テ 圖 ス 氏 新 N 種 如 = 及 新 18 地 衣 ヲ ズ 種 ラ得 送 シ ŀ テ IJ 逝 且. × 安 去 Ŀ 此 田 セ 記 其 曲 來 ラ 學 時 ヲ 學 ヌ ヲ ヲ 後 安 ヲ シ 採 予 田 用 所 Ø 篤 ガ

記

載

ヲ

送 地 Œ

Ø

點

年九

月

日

予

天城

郎

岳

頂

上

近

Æ

亦此

口

ハ黒點

ŀ

リ現ハレ「ピクノ」胞子

桿狀ヲナス、本種ハ Parmelia

屬

Menegazzia

亞

玉屬ニ屬

多

ハ樹枝 群集シ孔

先端拇指

大以下ノ枝梢ヲ匝リテ着生

ス

正

獨語

第四

(本誌第三卷第五號

顯微鏡

ニテ窺

シ

テ先ニ小生ノ見落

* Ø n テ分枝セ

ズ」ヲ「線狀體ハ分枝ス」

ト改ム、 百〇

physesハ分岐

セ フ モ N

ガ常則故 不明

再

ビ此點ヲ精檢シ

「メチ

V ン ソ

·兹ニ前ノ粗

漏ヲ謝ス

雷

軒

性デ内

!!二二個叉 ニ圓形ノ穿孔 SCHABRER.

個 ナ

ノ巨大、

厚壁性ノ胞子

ヲ容納

≥⁄

テ居ル、

ť

ガ =

アル

子器ハ盃形

ルヲナ

シ

長柄ヲ有シ縁

酷似

シ

葉狀體ハ白色叉

灰緑色ヲ呈

其頂キ



a 子囊 $100 \times 50 \mu$ 壁ノ厚サ 6-7μ 胞子 40×20 µ 壁ノ厚サ 5 µ

七

植

物

第四 記

+

此

地

衣

ノ詳シイ記

載

他日 テ

别

ス 圖

w

≥⁄ 卷第四

居

ナ 八

イ 四

取

リ敢へ

く其全形

ŀ

要點

ŀ

d ピクノ胞子 5.5×1μ、

c 擔子柄

揭

ゲ

N

此 地 ズ

衣

ハ

全體

造

ガ

んしごけ

Parmelia

シ中空デ 表面處 解 彼

ヺ 玆 シ

ハ内ニ卷キ込マ 々二 通 = ア

v 波狀ヲ呈シ 圓筒形叉ハ圓錐 - テ居 形

クニデャ」ハ葉狀體表 面 1 突起 n ノ先端 ノ突起ヲ出 子囊 附 厚膜 近

頁、 うめのきごけノ線狀體ハ Hymenial gelatin 最終ョリ第二行 目)らめのきごけ ラ記 載 中 = 密着 線狀 **≥**⁄

ガ爲ナリ然 = テ染色シ明瞭ニ分岐 ルニ元來 Parmelia 乜 屬ノ線狀體 N 7 ŀ ヲ確メ タ

レ IJ ے. ì

〇ひうがみづきノ自生地始メテ判明ス

理 學 士:

服

部

静

夫